

愛知の土地改良

第167号

平成22年1月1日



みどり
水土里ネット愛知

発行所

愛知県土地改良事業団体連合会
名古屋市西区栄生一丁目18番25号
電話 <052> 551-3611 (代)



紅葉の枝下用水路(豊田市)

第8回あいちの農業・農村フォトコンテスト
水土里のフォト大賞作品

目次

新年を迎えて	会長 神谷金衛	2
新春を迎えて	愛知県知事 神田真秋	3
新年に当たって	全国水土里ネット会長 野中広務	4
ご挨拶	愛知県農林水産部農林基盤担当局長 青木草雄	5
第2回理事会		6
第2回支会長会議		6
叙勲・県功労者表彰		7
第32回全国土地改良大会 島根大会		7
水土里の集い		9
農政情報		10
□食料供給基盤安全管理対策支援事業		
研修会		11
□農業農村整備技術強化対策事業一般研修、施工技術研修		
□水土里ネット事業視察研修会、排水機同盟会視察研修会		
□農村振興総合整備推進事業視察研修会・適正化加入団体现地研修会・排水機管理担当者現地視察研修会		

農と水の故郷フェア'09	14
第12回あいちの農業・農村パネル展	14
2009ため池フォーラムinながさき	15
東三河の農と水を考えるつどい	16
第8回フォトコンテスト入賞入選作品	17
「ふるさと田んぼと水」子ども絵画展2009入賞入選作品	17
会員情報	19
□市町村合併・土地改良区解散	
□21世紀土地改良区創造運動	
●水土里ネット愛知用水、水土里ネット牟呂用水	
●大賞を水土里ネット愛知用水、さなえ賞を水土里ネット豊田 受賞	
2010年世界農林業センサス実施のお知らせ	20
事業情報	21
□農地・水・環境のつどい 開催	
□緊急雇用創出事業基金事業に取組んでいます!	
□水土保全強化対策事業 情報	
水土里ネット役職員研修会開催のお知らせ	23
迎春	24



新年を迎えて

愛知県土地改良事業団体連合会
会長 神谷 金衛

会員の皆様方には、新年を迎え益々ご健勝にて、ご活躍のこととお慶び申し上げます。

平素は、本会の運営並びに農業農村整備事業の推進につきまして、格別のご支援、ご協力を賜り心から厚く御礼申し上げます。

また、昨春より、瞬く間に地球規模で広がった新型インフルエンザの猛威は一向に衰える気配はありません。皆様方におかれましては体調管理に十分留意していただきたいと思っております。

さて、衆議院解散による総選挙が昨年8月30日に執行され、小選挙区制の目指した2大政党による政権交代が行われ、従来の政策の見直しや新政策の検討が行われてきました。食料増産運動から始まった戦後60年余りの農業政策を振り返ると、早々に米の完全自給を達成し、多彩な農水産物の国内生産と世界中からの輸入とがあいまって、今日では、日本ほど食生活が豊かな国はないとまで言われるようになり、その意味ではこれまでの農業政策の果たしてきた役割は正当に評価されなければならないと思っております。

今年は「食料・農業・農村基本計画」の見直しが行われる年でもあります。「食料・農業・農村基本計画」は、「食料・農業・農村基本法」に基づき、国の農林水産施策の基本理念と実現を図るために基

本となる事項を定めるもので、概ね5年ごとに見直しを行うこととしており、現在、食料・農業・農村政策審議会において検討、議論されております。農業農村整備事業は、基本法の基本理念を具体化し、推進していく上で中心となる重要な施策であり、積極的な推進が図られなければなりません。私ども水土里ネット愛知といたしましても、農業農村整備事業の推進母体として従来からの業務だけでなく、農地有効利用支援整備事業、食料供給基盤保全管理対策支援事業、農地・水・環境保全向上対策、水土里情報利活用促進事業等、時代の変化に即応した事業展開を進めているところです。

農業を取り巻く環境は一段と厳しく、大変化の渦中にありますが、このような激動の中にあっても、鋭意、会員の皆様方のご意見を反映しつつ、役職員が一体となって、業務運営に一層の努力をして参りたいと考えておりますので、今後も益々ご支援、ご協力を賜りますようお願いを申し上げますとともに、土地改良事業の限りなき発展と皆様の益々のご繁栄を心からお祈り申しあげまして、新年のごあいさつといたします。



新春を迎えて

愛知県知事 神田 真秋

あけましておめでとうございます。

県民の皆様方には、健やかに新春をお迎えのことと存じます。

さて、最近の経済状況は、一部指標に明るい兆しが見られるものの、雇用情勢は依然として厳しく、景気は予断を許さない状況にあります。

こうした厳しい状況の中で、新しい年を迎えますが、県民の皆様方とともに、この難局を乗り越え、愛知の未来に向け力強い一步を踏み出してまいりたいと考えております。

去年は、アメリカ、日本で政権交代が起こるなど世界的に大きな変化を感じさせる年でありました。とりわけ、我が国の政権交代は歴史的なことであり、様々な分野に影響が及んでくると見込まれますが、こと県政運営にあたっては、県民の皆様方の目線でしっかりと舵取りを行ってまいります。

このため、まず当面は、雇用対策や中小企業の経営支援など地域経済を下支えするとともに、地域医療の充実や子育て・子育て環境の整備、交通安全対策など県民の皆様方の日々の安心、安全の確保に力を注いでまいります。

その上で、中長期を展望した愛知の発展に向け、航空宇宙産業などの次世代産業の育成、将来の飛躍の基盤となる社会資本の整備、来たるべき低炭素社会に向けた取組などを積極的に進めてまいります。

農業に関しましては、意欲ある人材や多様な経営体による農業への参入促進、農地の利用集積や、商品力や生産性を高める新技術の開発など、「足腰の強い農業」をめざした取組を展開してまいります。

とりわけ、農地・農業水利施設など農業生産基盤の整備・保全を図り、集中豪雨や大規模地震など自然災害に備える農地防災対策を実施し、また農村地域における生物多様性や良好な景観を形成する農業農村整備事業につきましては、本県農業の基礎を支える主要な施策として着実に推進してまいります。

また、いよいよこの夏から秋にかけて、地域を挙げて準備を進めてきた二つの大きな事業、環境分野における最大級の国際会議であるCOP10と国際芸術祭「あいちトリエンナーレ2010」が開催されます。ぜひともこれらを成功させ、愛知の総合力をさらに高めてまいりたいと考えております。

新しい年も、引き続き本県財政は厳しい状況が続きます。徹底した行財政改革を進めることはもちろんであります。大きな時代転換の本質を見極め、現下の危機の克服と将来にわたる愛知の発展に全力で取り組んでまいり所存であります。

県民の皆様方の格別のご理解、ご協力をお願い申し上げます。



新年に当たって

全国水土里ネット会長 野中 広務

平成22年の年頭に当たり、全国の農業農村整備事業の推進に御尽力いただきありがとうございます皆様に謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

去年は衆議院解散・総選挙が行われ、鳩山新政権が誕生致しました。新政権発足後に行われた新年度予算編成においては、行政刷新会議の「事業仕分け」により縮減・廃止を求められた事業も少なくなく、農業農村整備事業を推進している現場では、大変な混乱がおきています。

このような中であっても、我々は農家の期待に応え、農業・農村のため、ひいては国民のために、必要とされる農業農村の整備をしっかりと行って行かねばならないと思います。

言うまでもなく我が国の食料自給率は40%前後と極めて低い状況にあり、65歳以上の高齢農家に6割を頼らざるを得ない危機的な農業構造と、厳しい農家経済の現状を鑑みた時、我が国の国民生活の安定と国土の持続性に対し、大きな危惧を抱かざるを得ません。

我が国の食料自給率を高めるには、水田の汎用化と農業水利施設の維持と更新を確実に進めるとともに、国土保全などの多面的な機能を有する農村地域の活性化に、今まで以上に取り組んでいくことが不可欠です。

日本の将来を見据えた時、日本の農業・農村を守ってゆくことは、何を置いても大切なことと思います。そのためには、先達が営々と築き上げてきた里地・里山の管理手法や、水田稲作農業の優れた持続可能なシステムを、水土里ネットが中心となり、地域の方々と一緒になって後世にきちんと引き継いでゆくため最大限の努力を惜しんではならないと思います。

地域の農業や集落が大きく変貌してゆく中で、地域の資源を地域の手でどのように守ってゆくのか、水土里ネットや都道府県水土里ネットとしてどのように行動し貢献していくのか等、真剣に考え、主体的に行動を起こしていく必要があるのではないかと思います。

農業・農村の危機的状況を打破するために、全国的水土里ネットをはじめとする仲間が結束して、地域から声を出し、必要な施策を提案し、積極的に行動していくことが何より重要だと思います。

新しく輝かしい年の出発に当たり、私も皆様方とともに、全国の仲間とともに益々積極的な活動に取り組んでいくことを身の引き締まる思いとともにここに改めてお誓い申し上げたいと存じます。

本年が全国の皆様にとって良き年でありますように、御健勝と御発展を祈念いたしまして、私の新年の御挨拶と致します。



ご挨拶

愛知県農林水産部農林基盤担当局長 青木 章雄

あけましておめでとうございます。

愛知県土地改良事業団体連合会におかれましては神谷会長を中心として、県政の発展に多大な御支援をいただくとともに、本県の農業農村整備事業の推進に格別な御尽力を賜っておりますことを厚くお礼申し上げます。

一昨年の飼料や原油の異常な高騰は一段落したものの、依然として高止まりしており世界的な食糧需給の逼迫が危惧され、我が国における食料自給体制を確立することが急務であることに変わりはありません。

また、くしくも伊勢湾台風の襲来から50年となった昨年、進路、強さともに当時を思わせる台風18号が本県を直撃し、ハウスや農作物などに大きな被害をもたらしたことで、改めて自然災害の脅威を身近に感じたところであります。

こうした中、安定した農業用水と生産性の高い優良農地を確保し、本県農業を持続的に発展させるとともに、防災対策に万全を期し、安心・安全な県土づくりを目指すために農業農村整備事業の果たすべき役割は非常に大きなものがあり、県民生活の将来をしっかりと見据えつつ地域の実情に即した効率的・効果的な事業を着実に進めていくことが重要であると考えております。

一方、昨年、民主党新政権がスタートし、ダムなどの大型事業のみならず、公共事業全体が厳しい状況に置かれております。しかし、農業農村整備事業は土地改良区、市町村など地域の要望に基づき、地域の意見を聴きながら進めている事業であり、地域主権の観点からその必要性、重要性を御理解いただくよう、引き続き努めて参ります。

さて本年10月には、この愛知・名古屋で「生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）」が開催されます。「自然の叡智」をテーマに開催された愛知万博の理念・成果をいかし、本県の自然との共生を図る取組を世界に発信する絶好の機会であります。貴連合会におかれましては、農地・水・環境保全向上対策において、貴重な地域資源である農地や農業用水を活用して生物多様性の保全に取り組む活動組織をサポートし、環境に配慮した農業農村整備事業を計画し事業化してこられた豊富な経験と知識、技術力を十分に発揮され、COP10への御支援を賜りたいと存じます。

最後になりましたが、貴連合会のますますの御発展と会員各位の御健勝御多幸をお祈り申し上げまして、年頭のご挨拶とさせていただきます。

第2回理事会 開催

第2回理事会を、11月30日愛知県土地改良会館7階大会議室において開催した。

理事会は始めに神谷金衛会長の挨拶、続いて、参与としてご臨席の青木章雄農林基盤担当局長より挨拶をいただき、議事に入った。

提出した下記議案は、いずれも原案どおり承認、可決された。

記

- 1 平成21年度一般会計収支補正予算の専決処分について(二次補正)
- 2 減価償却積立金管理規程並びに公印管理規程の設定について



第2回支会長会議 開催

第2回目の支会長会議を、10月16日愛知県土地改良会館6階第1研修室において開催した。

会議には、神谷金衛会長(岡崎支会長)、浜田一徳副会長(海部支会長)、長瀬 保名古屋支会長、沢田丸四郎半田支会長、川上万一郎幡豆支会長、小久保三夫豊橋支会長が出席された。会議は始めに神谷会長より挨拶がなされ、続いて、神谷会長を座長に選任し、議事に移った。

提出した下記議案については、それぞれ、資料に基づき説明が行われた後、活発な意見交換が行われた。

記

- 1 新規事業について
 - (1)土地改良負担金対策事業
 - (2)食料供給基盤保全管理対策支援事業
 - (3)農村振興総合整備事業
 - (4)農地有効利用支援整備事業
- 2 平成21年度一般会計収支補正予算の専決処分について(二次補正)
- 3 減価償却積立金管理規程並びに公印取扱規程の設定について

叙勲・県功労者表彰

平成21年度秋の叙勲・県功労者表彰の栄えある受章者に、土地改良関係者から3名が選ばれた。

いずれも、土地改良事業の促進、発展に懸命に努力して来られた方々であり、このたびの栄えある受賞を心からお慶び申し上げ、益々ご壮健でご活躍されますようお祈りいたします。

ここに受賞者の方々をご紹介します。

旭日単光章



澤田 廣三 氏
本会理事
愛知用水土地改良区理事長
(前)知多南部土地改良区理事長

旭日双光章



西村 武治 氏
西之口土地改良区理事長

県功労者表彰



服部 淳二 氏
日光川西悪水土地改良区
理事長

第32回全国土地改良大会 島根大会 開催

国引きロマン、水土里の想い。神話の郷から今、未来へ。

第32回全国土地改良大会島根大会が、10月28日、島根県松江市の国引きメッセにおいて、水土里ネット島根、全国水土里ネットの主催及び農林水産省、島根県、松江市の後援により、「国引きロマン、水土里の想い。神話の郷から今、未来へ。」をテーマの下、全国の土地改良関係者約3,500名が参集し、盛大に開催された。

大会前日の10月27日には、関連行事として、同会場にてシンポジウム「持続可能な水・土・里について」が開催され、島根大学生物資源科学部から「健全な水源林の管理について」の研究発表、浜田 哲北海道美瑛町長から「日本でもっとも美しい村連合について」の基調報告、養老孟司東京大学名誉教授から「手入れで育む水源の森」の特別公演が行われた。

大会はオープニングセレモニーとして、島根県の紹介と開会宣言の後、青木水土里ネッ



青木水土里ネット島根会長の開催県挨拶

ト会長が開催県挨拶で、「先人達が築いてきた豊かな農業農村環境を良好な状態で次世代に継承していくため、「農地・水・環境保全対策」も全力を挙げて取り組んでいる。今後もこうした事業が継続され、農家・非農家、農村・都市を問わず、水・土・里の想いを次世代へとつないでいく。」と呼びかけた。野中全国水土里ネット会長の主催者挨拶では、「我々が、わがふるさと、わが田畑を次の世代に引き継いでいく重要な

重要なバトンをもっている。この国の基本となる農林水産業、そして国民がどのようにこの国の形を創っていくかを大きな決意と新たな前進を誓いたい。」と述べられた。

次に、溝口島根県知事の歓迎の言葉の後、郡司農林水産副大臣から、「農業の立て直しの柱が戸別所得補償制度であり、それは皆様との約束であり、大臣とともに全力で取り組んでいく。こうした中、農業農村整備事業については、国内供給力の強化に向け、農業水利施設の更新や麦・大豆の生産振興に不可欠な水田の汎用化等、重点化を図り、整備を着実に推進していく。」と来賓祝辞があった。

続いて、土地改良事業功労者表彰に移り、農林水産大臣表彰6名、農村振興局長表彰16名、全国土地改良事業団体連合会長表彰47名の受賞者に表彰状と記念品が授与された。本県からは、農村振興局長表彰に田中 穰水土里ネット愛知顧問が、全国土地改良事業団体連合会長表彰に白木実夫水土里ネット鍋田理事長（水土里ネット愛知代表監事）が表彰の栄に浴された。



農村振興局長表彰の
田中水土里ネット愛知顧問



全土連会長表彰の
白木水土里ネット鍋田理事長

引き続き、農業農村の振興に向けた優良

活動事例の紹介、斎藤農村振興局次長より基調報告が続き、島根大学生物資源学部の影山浩樹さんと丸田恵美子さんが、「健全な水・土・里を守ることにより、「食料」「水」「エネルギー」の資源供給を担うだけでなく、「国土」を保全する重要な責務を担うものとして、国民の負託と信頼に一致団結して応えていく。」と、大会宣言を力強く朗読した。



国営中海土地改良事業損屋工区調整池視察

この後、大会旗引継ぎに移り、次期開催県である長崎県の紹介と、大会旗が青木水土里ネット島根会長から野中全国水土里ネット会長へ、そして宮本水土里ネット長崎会長へと引き継がれた。

最後に、吹田全国水土里ネット副会長の閉会の挨拶により大会は盛会裏に幕を閉じた。

午後からは、島根県内の先進的な農業農村整備事業実施地区の視察研修会が、7つのコースにより実施された。

水土里の集い 開催

— 水土里ネット愛知用水が21創造運動大賞を受賞 —



野中全国水土里ネット会長挨拶

もに各地における取組や関連する課題・提言などの意見を
発表し、問題意識を共有することを目的に開催し、第1部
は、佐藤 準全国水土里ネット専務理事の開会の挨拶に始
まり、阿武隆弘全国水土里ネット企画研究部長の基調報告、
鈴木宣弘東京大学大学院教授の基調講演が行われた。

第2部は、野中広務全国水土里ネット会長の主催者挨拶
により開会され、21創造運動大賞、21創造運動さなえ
賞、疏水のある風景写真コンテストの表彰式が執り
行われた。21創造運動大賞は、全国9地区が表彰
され、本県では水土里ネット愛知用水が受賞し、野
中会長より澤田廣三理事長に賞状が授与された。また、
21創造運動さなえ賞は、本県の水土里ネット豊田（全
国11地区）が受賞した。その後、大賞受賞地区の
水土里ネット笹川（山形県）と水土里ネット大隈町
笠木原（鹿児島県）の事例発表が行われた。

引き続き、全国8ブロックからの代表から意見発



長坂水土里ネット愛知調査課長発表

表がなされ、東海ブロック
を代表して長坂 紀水土里
ネット愛知調査課長が、農
地・水・環境保全向上対策
の活動事例の概要、課題と
提言の発表を行った。

全国水土里ネットは、11月30日午後1時
から、東京都千代田区のシェーンバツハサポー
において「水土里の集い」を開催し、全国から
土地改良関係者約600名余が参集し、本県か
らは、水土里ネット宮田用水、海部、愛知用水、
豊田、豊川総合用水、幡豆水利事務所の役職員
13名参加した。

この集いは、農業農村整備及び農村振興の関
係者が参集し、現下の農業情勢を理解するとと



鈴木教授基調講演



野中会長より賞状を授与される
澤田水土里ネット愛知用水理事長



授賞式で登壇された
山内水土里ネット豊田総務課長（中央）

食料供給基盤保全管理対策支援事業

◎事業の目的

食料供給基盤（農地、農業用水、農業水利施設等）の適切な保全管理を通じた安全で信頼性の高い食料の安定供給の機能等について、民間団体が有する知見と技術を活用し、地域レベルで普及している効果的な取組等について多様な調査を行い、その機能の分析評価を行うこととする。また、これらの成果のデータを整備し、関係機関等に提供・共有するとともに、機能評価結果等について現地適合性の検証を支援することで、農地・農業用水の保全管理を通じた食料供給力の確保等に資する。

◎実施主体 愛知県土地改良事業団体連合会

1 調査計画の策定等	水土里情報利活用促進事業で整備した基図等の利活用を基本とする
食料供給基盤の保全管理のための調査並びに機能調査及び評価の計画等の策定の調査	
ア 既存資料等の収集等 イ 調査計画の策定 ウ 現地適合性試験の実施計画の策定	①調査項目の策定（関係機関団体と協議） ②資料収集物の内容整理 ③全体計画の策定（調査計画・現地適合性試験の実施計画の策定）
2 食料の安定供給の機能等の調査及び評価	◎評価委員会の設置及び開催
(1) 食料の安定供給の機能等の調査 ア 農業水利施設の配置及び機能等に関する調査 イ 農業水利施設に関連する受益地域、基盤整備事業実施地域における農地等に関する機能の調査 (2) 機能調査の結果に基づく機能評価 ア 農業水利施設の配置及び機能等に関する評価 イ 農業水利施設に関連する受益地域、基盤整備事業実施地域における農地等に関する機能の評価 (3) 機能調査及び機能評価結果データの整備等 ア 調査及び評価結果データの整備 イ 保全管理手法の立案 ウ 現地適合性試験計画の策定	①食料の安定供給の機能等の調査及び評価 衛星画像・PDA等による現地確認及び評価検討 ●農地診断表（農地カルテ） ・農作物の作付け、農地集団化・集積、被害等状況調査及び評価 ・農地の持つ機能（土壌・地下水位・肥料・農業・区画等）調査及び評価 ●農業用施設診断表（施設カルテ） ・施設規模、施設能力、施設状況（平面図・縦横断面・構造図等）調査及び評価 ・関係受益区域、管理区域等 以上の調査及び評価 ●環境診断表（環境カルテ） ・田園環境整備マスタープランの調査及び評価（「環境創造区域」「環境配慮区域」及びその内容） ・環境調査及び評価 ②機能調査及び機能評価結果データの整備等 ・データの整備（データ管理） ・保全管理システムの立案 ・現地（関係機関及び現地）での適合性試験計画の策定（システム利用とその効果（省力化）のための計画策定）
3 現地適合性試験	◎検証委員会の設置及び開催（必要に応じて）
機能調査及び機能評価に基づく現地適合性試験の実施並びに機能調査及び機能評価に基づく保全管理手法の検討	
ア 現地適合性試験の実施 イ アの結果を踏まえた保全管理手法の検討	・現地（関係機関及び現場）での適合の実施 ・システムの活用とその効果（省力化）の結果取りまとめ

◎関係機関等

東海農政局、愛知県、市町村、農業協同組合、農業共済組合、農業委員会、土地改良区 等

◎実施機関 平成21年～平成25年（5ヶ年）

10月30日、愛知県土地改良会館7階大会議室において平成21年度農業農村整備技術強化事業一般研修を開催した。



伊藤専務理事挨拶

研修の開会にあたり、伊藤 明水土里ネット愛知専務理事から、「来年度予算の概算要求で農業農村整備については、対前年比84.7%と公共事業に対して厳しい状況が示されている。また、農地水環境向上対策というソフト事業もこれからこういった形になってくるのか非常に心配している。先般、3日間、島根の方で全国土地改良大会が開催され、このような厳しい状況の中では、耕作放棄地も増えている状況

で水田の汎用化、高度利用を図っていく水田汎用整備も進めていく必要もあると大会で発表があった。その視点で私共は、今後とも皆様のご支援をいただきながら、県下の水田等の整備に努力して参りたいと思っている。」と主催者の挨拶があり、引き続きご臨席いただいた飯田 眞愛知県農林水産部農林基盤担当局長から、「来年度は本県で生物多様性条約第10回締約国会議COP10が開催される。私共が実施している土地改良業務は、この生物多様性に少なからず関係があるものと確信している。今日講義では生物多様性に関連する研修科目もあると聞いているが実りの多い成果を得られることを願っている。」と挨拶をいただいた。その後、葭井 功東海農政局設計課長から平成21年度補正



飯田農地整備課長挨拶

予算、22年

度予算などの情報を伺った後、講義に入った。

講師には、東海農政局、愛知県から、下記カリキュラムにあるように当該事業を直接担当されている方々をお招きし、それぞれの内容で具体的に指導いただいた。研修は、県内各地から農業農村事業に携わる県・市町村・水土里ネットなどの職員47名が受講し、有意義な研修となった。



葭井設計課長挨拶

研修科目	講師（敬称略）
農業農村整備事業を巡る最近の情勢	東海農政局整備部 設計課長 葭井 功
農林水産省生物多様性戦略	東海農政局企画調整室 室長補佐(環境政策) 稲本 政壽
生物多様性条約第10回締約国会議に向けた農林水産部の取組と事例紹介	愛知県農林水産部農林基盤担当局長 農地整備課課長補佐 中根 俊樹

平成21年度農業農村整備技術強化対策事業 施工技術研修 開催

12月3日～4日、愛知県土地改良会館7階大会議室において平成21年度農業農村整備技術強化事業施工技術研修を開催した。

研修の開会にあたり、伊藤 明水土里ネット愛知専務理事から主催者の挨拶があり、引き続きご臨席いただいた飯田 眞愛知県農林水産部農林基盤担当農地整備課長から挨拶をいただいた。講師には、東海



研修の様子

農政局から、下記カリキュラムにあるように当該事業を直接担当されている方々をお招きし、具体的に指導いただいた。研修は、東海三県各地から農業農村事業に携わる県・市町村・水土里ネットなどの職員75名が受講し、早川清春水土里ネット愛知総務部長の閉会挨拶で2日間の幕を閉じた。



伊藤専務理事挨拶

月 日	研 修 科 目	講 師 (敬称略)
12月3日	農業農村整備事業(施工分野)を巡る情勢	東海農政局整備部設計課 工事検査官 藤井啓佐義
	品確法における発注者支援及び総合評価落札方式	東海農政局整備部設計課 技術審査係長 大坪 寛
	ストックマネジメント(補修・補強方法)の対策	東海農政局整備部水利整備課 課長補佐(調整) 小野 孝幸
12月4日	施設機械設備の設計(管理)と留意点	東海農政局土地改良技術事務所 専門技術指導官 芝原 明利
	農業農村整備事業におけるコスト縮減対策	東海農政局整備部設計課 積算施工係長 梅田 勝彦
	施工管理の基礎及び留意点	東海農政局土地改良技術事務所 専門技術指導官 藤田 康宏
	環境との調和に配慮した事業の実施	東海農政局土地改良技術事務所 環境技術係長 田中健一郎
	アンケート、ホテル君のクイズ	

■水土里ネット事業視察研修会 開催

10月21日～22日にかけて、農業農村整備事業の推進を図るため、21日には、静岡県島田市において、「国営大井川用水農業水利事業」を、22日には、静岡県御殿場市において、「地域開発関連総合整備事業御殿場かがやき地区、経営体育成基盤整備事業高根西部山之尻地区」の事業視察研修会を開催した。

研修会には、63名が参加し、1日目の島田市では、頭首工や水路橋を視察し、古木農林水産省関東農政局大井川用水農業水利事業所次長より詳細な説明を受け、2日目の御殿場市では、雄大な富士山を前に、御殿場かがやき土地改良区伊倉理事長と野沢事務局長から地域開発関連総合整備事業御殿場かがやき地区の取組みを、静岡県東部農林事務所農地整備課の



水路橋視察

清主任と村越係長から経営体育成基盤整備事業高根西部山之尻地区の概要などについて説明を受けた。

参加された方々は、それぞれの思いで熱心に視察され、地域での農業農村整備事業の推進の参考にしていただいた。

今回、参加された会員のアンケート結果では、「今後もこういった事業視察が必要である。」との意見がほとんどであり、大変有意義な研修会となった。



富士山を眺めての御殿場での視察

■ 農業用排水機県営移管期成同盟会視察研修会 開催

農業用排水機県営移管期成同盟会（服部金蔵会長）では、9月29日～30日にかけて、兵庫県豊岡市「兵庫県立コウノトリの郷公園・豊岡市立コウノトリ文化館」並びに「県営湛水防除事業 一日市（ひといち）地区」の視察研修会を開催した。

研修会には、60名が参加し、兵庫県立コウノトリの郷公園・豊岡市立コウノトリ文化館では野崎様他1名の説明を受けた。

また、翌日は、「但馬県民局豊岡土地改良事務所・一日市排水機場」を視察し、加藤幸洋豊岡土地改良事務所主幹及び足立正規豊岡市農林水産課参事より、概要説明を受け、大変有意義な研修会となった。



コウノトリの郷公園視察



一日市排水機場視察

農村振興総合整備推進事業（農業集落排水）視察研修会を、11月13日、長野県駒ヶ根市では、農業集落排水事業として汚泥処理施設「クリーンピア駒見」を、安曇野市では、バイオマスエネルギー地域システム化実験事業として穂高広域施設組合「穂高クリーンセンター」を視察した。参加者は、県・市町村職員28名。

適正化事業加入団体现地研修会を11月19日、土地改良施設の適切な維持管理と適正化事業の円滑な推進を図るため、岐阜県瑞浪市松野湖取水施設（適正化事業）、愛知県犬山市犬山頭首工（国営総合農地防災事業）、江南市宮田中央管理所（適正化事業）において開催した。参加者は、市町村・水土里ネット職員50名。

排水機管理担当者現地視察研修会を11月25日、三重県伊勢市楠部排水機場・楠部第二排水機場・明神ポンプ機場において開催した。参加者は、市町村・水土里ネット等の職員や運転管理者69名。

●農と水の故郷フェア'09 ～田畑の水はどこからくるの?～ **開催!!**
 ●第12回あいちの農業・農村パネル展 ～水土里ネットってなんだろう?～



フェア'09 テープカット

10月17日、愛知郡長久手町にある「愛・地球博記念公園モリコロパーク（園内と大芝生広場）」において、農業・農村の重要性と、その基盤を支える農地、農業用水、水源林などの役割・仕組みについて広く一般にも理解を深めてもらおうと「農と水の故郷フェア'09」を開催した。

今年で2回目を迎えるこのフェアは、本会と愛知県、水土里ネット愛知用水、水土里ネット明治用水、(財)愛知・豊川用水振興協会が実行委員会を設け実施しており、クイズをしながら農業用水水源の水を下流まで運び、米を実らせることを体験する「ウォークラリー」に親子連れ約420名が参加した。ゴール地点の大芝生広場には、水槽にタガメやメダカなどを展示した「田んぼの生き物展」、日本の食料・農業農村整備事業の体験学習コーナー、水土里ネット愛知用水と水土里ネット明治用水がそれぞれの水源地域との「交流物産展」、小学生による環境に関する発表会や「田んぼの生き物クイズ」などを実施した。

また、平成10年度から本会が実施している「水と土と農の広報キャンペーン」も同会場にて開催し、水土里ネットの役割や位置づけを知ってもらい、農業・農村に対する関心を高めてもらおうと愛知の農業用水の歴史と変遷を紹介するパネル、資源保全、疏水百選のパネル、「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展2008、第7回あいちの農業・農村フォトコンテストの入賞・入選作品などを展示し、「第12回あいちの農業・農村パネル展～水土里ネットってなんだろう?」を開催した。



第12回パネル展

午前9時30分からスタートしたイベントは、あいにくの空模様のため一部の展示物などは午前中で撤収されたが、大型テント内の「交流物産展」や「田んぼの生き物展」などは、終了の15時まで終始賑わい、モリコロパークの来園者3,500人のうち約800人がこのイベントに訪れた。



ウォークラリーチェックポイント



交流物産展



田んぼの生き物クイズ

2009ため池フォーラムinながさき 開催

「ため池の魅力を見直し！」～伝えよう水土里の恵み～



吹田全国ため池協議会長挨拶

11月18日と19日、2009ため池フォーラムinながさきが、「ため池の魅力を見直し！」～伝えよう水土里の恵み～のテーマの下、長崎県、水土里ネットワーク長崎、大村市、野岳大溜池水利組合で構成された実行委員会主催により長崎市大村市民会館で開催された。

開会式は、松尾実行委員会委員長の開会のことばに始まり、中村長崎県副知事の主催者挨拶、松本大村市長の歓迎の挨拶、来賓を代表して、黒田農林水産省農村振興局防災課長と吹田全国ため池等整備事業推進協議会長が挨拶を述べられた。

平成13年の第6回から始まった「ため池のうた合唱」では、地元の大村市立三城小学校4年生児童70余名がすばらしい歌声を披露し、子供たちの元気な歌声が参加者に昔懐かしいため池のある風景を思い浮かばせた。



宇根 豊氏基調講演



諫早湾中央干拓地視察

次に、基調講演に移り、長崎県島原市生まれの宇根 豊NPO法人農と自然の研究所代表理事が「ため池のフナに、池が見えるか」をテーマに「ため池のあるところは水生昆虫が多い。百姓はそれを知らない。足元に目を向けていくことが大切である。百姓は自分の言葉で、ただの自然や風景を語らなければならない。」と講演を行った。引き続き、長崎県農林部、大村市、西海市職員4名による事例発表が行われ、発表された諫早湾中央干拓地、干拓堤防道路、野岳湖、伊佐の浦ダムは、翌日の視察コースにも組まれていた。

その後、貴重な財産である「ため池」の必要性やすばらしさをひろく国民に理解してもらい、「ため池」の維持、保全と活用に、関係者と一体となって次世代へ引き継いでいくことが宣言された。

閉会式では、来年度第15回となる「ため池フォーラム」を愛知県で開催することとなり、溝田大助愛知県農林水産部農地環境対策監から次期開催県として「来年は愛知・名古屋市でCOP10が開催される。この期間中の10月22日と23日に開催、週末の金・土曜日開催、一般県民参加型のオープンなフォーラムとし、池干しを含む4コースの視察を計画中である。全国から多数の皆様参加をお待ちしている。」と挨拶がなされた。最後に、濱本長崎県農林部長の閉会の挨拶で本会議の幕を閉じた。



溝田愛知県農地環境対策監挨拶

東三河の農と水を考えるつどい

～農業と水の共生～

豊橋支会が開催!



小久保豊橋支会長主催者挨拶



神谷会長来賓挨拶

11月17日、「東三河の農と水を考えるつどい」～農業と水の共生～が、豊橋市の「ライフポートとよはし」で水土里ネット愛知豊橋支会の主催で、東三河地域の農業生産者、JA、農業委員会、地域水土里ネットなどの農業団体関係者や消費者など750名が参集のもと、開催された。

最初に、主催者の小久保三夫支会長が「水土里ネットは、建設の仕事が中心となるが、本日は、頭を柔らかく、水源の人々に感謝するつどい」として挨拶、引き続き、来賓を代表して中野良昭東三河農林水産事務所長が「地域財産として豊川用水を未来につなげていくことが重要である。」と、神谷金衛水土里ネット愛知会長が「農業者や農業者でない方が、農業のこと、水のことをそれぞれの立場から考える良い機会である。」と、挨拶された。

次に、基調講演に移り、高橋五郎愛知大学教授が「中国農業の現状について」をテーマに、「中国でも農業後継者が激減し、農地や水が荒れ、深刻な環境問題を引き起こしている。食料自給率の低下は、日本と中国だけの問題ではなく、東アジア全体で考えなければ、解決は不可能である。」と講演を行った。

その後、高橋教授がコーディネーターとなり、パネリストとして高橋義晴氏（豊川用水・水土里ネット代表）、加藤和年氏（水源地関係者）、柴田隆夫氏（農業経営士協会代表者）、白井良始氏（農業協同組合長会代表者）、大場和子氏（消費者協会代表者）の5名の方々により、東三河地域は、豊川の上流に水源地を設け、豊川用水が育む全国有数の農業地域であり、安全な農産物が安定的に生産され、消費者に届けられていることなど、豊川用水が恩恵をもたらす農業のあり方の内容のディスカッションを繰り広げられた。会場の参加者からも「水土里ネットが率先して水源地に植林運動をしたらどうか。」など、いろいろな意見が出され、最後に、高橋教授が、机上のペットボトルを手にして、「水の値段は安すぎる。水資源に限界があり、本来水は高いものだという意識が必要である。子供たちに水の貴重さ教える水育を、この地域で始めてはどうか。」と提案され、パネリストの柴田氏が、「良いことです。子供たちに伝える役目に協力できます。」と賛同され、つどいは幕を閉じた。



高橋教授基調講演



パネルディスカッション

「第8回あいちの農業・農村フォトコンテスト」

—大賞・優秀賞・特別賞・入選作品決定—

本会主催、愛知県後援の「第8回あいちの農業・農村フォトコンテスト」の審査会を12月15日、愛知県土地改良会館7階大会議室で開催した。県内各地から、今回のテーマ「土地改良施設と水土里の四季」を表現した作品356点（171人）の応募があった。審査は、審査会規程第2条により実施され、



審査会

8名の審査員による厳正な審査の結果、水土里のフォト大賞1点、優秀賞2点、豊かな農地あいち特別賞1点、農地・水・環境向上活動特別賞3点、入選10点の計17点が選考された。

なお、入賞・入選作品の展示を下記により実施しますのでお立ち寄りください。

【展示場所及び期間】

展示場所	展示期間(予定)
県庁本庁舎・西庁舎の地下連絡通路	平成22年1月18日(月)PM～平成22年1月29日(金)AM
西三河県民生活プラザ(西三河総合庁舎1階)	平成22年2月15日(月)AM～平成22年2月26日(金)AM
東三河県民生活プラザ(東三河総合庁舎1階)	平成22年3月1日(月)AM～平成22年3月12日(金)AM
海部県民生活プラザ(海部総合庁舎1階)	平成22年3月15日(月)PM～平成22年3月26日(金)AM



「三河湖」

水土里のフォト優秀賞
撮影者・鈴木 順喜氏



「明治用水 水源の春」

水土里のフォト優秀賞
撮影者・田中 寛氏

□水土里のフォト大賞(撮影者・入倉喜巳男氏)は、表紙に掲載してあります。

「ふるさと田んぼと水」子ども絵画展2009

—入賞・入選・地域団体賞作品決定—

「ふるさと田んぼと水」子ども絵画展2009に、全国から14,204点の応募があり、10月5日には、真室佳武東京都美術館館長、浅野康則画伯ほか6名の審査委員による本審査が東京で開催され、入賞23点、入選104点、地域団体賞66点が決定し、本県からは、1点の入賞と5点の入選の6点が選考された。

また、団体応募に水土里ネット明治用水、水土里ネット豊田、水土里ネット南陽が参画し、地域団体賞として水土里ネット明治用水理事長賞1点、水土里ネット豊田理事長賞他3賞の計4点、茶屋新田地域資源保全隊賞1点が選考された。

(敬称略)

入賞 「秘みつのため池」

入選 「たんぼのうえをはしるでんしゃ」
「あめのたんぼ」
「みんなでたうえ」
「花火を見ている、いけのさかなたち」
「水の駅で初めての田植」

加藤 一步 半田市立亀崎小6年
寺西 航 美浜町立布土保育所(5才)
永田 愛華 武豊北中根保育園(5才)
榊原 優月 豊川市立牛久保小1年
南川 若菜 豊田市立若園小2年
下谷 一将 安城市立梨の里小4年



「秘みつのため池」



「たんぼのうえをはしるでんしゃ」



「あめのたんぼ」



「みんなでたうえ」



「花火を見ている、いけのさかなたち」



「水の駅で初めての田植」

※団体応募は、すべての水土里ネットが参画できますので平成22年度に向けてご検討いただければ幸いです。詳細は、総務部企画広報課 (TEL 052-551-3613) まで問い合わせください。

市町村

平成21年10月1日、市町合併が行われました。

市名	合併関係市町	合併形態
清須市	清須市、春日町	編入

土地改良区

1土地改良区、1土地改良区連合が本会から脱退しました。

土地改良区名	脱退届受理日
丸根土地改良区	平成21年10月7日
濃尾用水土地改良区連合	平成21年10月21日
足助町土地改良区	平成21年12月1日

1月1日現在の水土里ネット愛知の会員数は、183会員（市町村60、土地改良区123）です。

21世紀土地改良区創造運動

【水土里ネット愛知用水】は、9月19日、大府市にあるJAあぐりタウンげんきの郷において、「受益地域と水源地域との交流イベント～愛知用水と水源の森～」を開催した。げんきの郷は、愛知用水の水で育った新鮮で安全な農作物を生産者が出荷する国内有数の規模を誇る直売施設である。

イベントは、午前10時から午後3時まで開催し、来場者は出前授業やパネルクイズラリーを通じて愛知用水について学習したり、どんぐり棒パン焼きや水源地の木材を利用した写真立て作りを体験するなど愛知用水や水源地域との交流を深めた。特に人気を集めたのは、水土里ネット愛知用水の職員が講師を務める出前授業であり、かえるの人形のマスコット（愛称はケロちゃん）が登場すると子どもたちが歓声を上げて出迎え、愛知用水について楽しく学んでいた。

「愛知用水」は、平成23年9月30日に通水50周年を迎えるにあたり、広く一般にも理解を深めるため「愛知用水」や水源である長野県大滝村・木曾町との関わり、水源涵養林の重要性などについてPRしていこうと気運を高めている。

【水土里ネット牟呂用水】は、10月30日、第6回水土里ウォークイン「牟呂用水」2009を親子連れ対象として豊橋市内の牟呂用水幹線水路周辺の土地改良施設を見学しながら親子の絆を深め、農業や社会に関わる「水」の大切さ、牟呂用水美化への意識向上や水土里ネットを知っていただくことを目的に開催した。ウォーキングコースでは、普段



テープカット



出前授業

は歩けない水路の中を実際に歩いてもらい、別の視点で用水を感じてもらったり、牟呂用水美化への取組としてゴミ袋を持って530（ゴミゼロ）運動しながらのウォーキングをしてもらった。当日は小学生の児童とその家族85名が参加した。



水路内ウォーク



参加者全員集合

21 創造運動大賞を受賞しました。

21 創造運動大賞を水土里ネット愛知用水が受賞（全国で9の地域水土里ネットが受賞）し、11月30日に開催された「水土里の集い」で表彰式が行われた。

水土里ネット愛知用水は、愛知用水二期事業の完了に伴い、支線水路はパイプライン化され、水路は地中に埋まり、存在意識が薄れていく中で、役職員の危機感が高まり、愛知用水の歴史と水土里ネットの役割などを子供たちを中心に地域にも伝え、愛知用水への理解を求める必要性を強く感じ、運動に取り組んでいる。「地域とともに歩む」をスローガンとして、地域の特色を生かし、地域に密着した活動を展開、水源地域への感謝を忘れず、「共生」の意識を持って水源地域との交流活動を行っている。組合員は、子供や孫たちに愛知用水の恩恵を伝えるという意識が芽生え始め、より一層の無駄のない水使用が増えている。

21 創造運動さなえ賞を受賞しました。

21 創造運動大賞さなえ賞を水土里ネット豊田が受賞（全国で11の地域水土里ネットが受賞）した。この賞は、21 創造運動の更なる裾野の拡大を図るため、運動に取り組んで2年以内で、キラリと光る活動をした、将来性のある水土里ネットを表彰するもので、21 創造運動大賞に引き続き、表彰式が行われた。

水土里ネット豊田は、地域の小学生を排水機場や管理センターに招き、用水の歴史や施設の機能、ゴミ投棄などの問題点を説明している。また、農地・水・環境保全向上対策の活動組織との連携により、水路と水田を結ぶ「水田魚道」、水路内の「水路落差を改良した魚道」を設置し、地域住民といっしょになって、水路・水田間の生態系調査の取組み、生態系保全のための精力的な活動を行っている。

二〇一〇年世界農林業
センサスが実施されます。

平成二十二年二月一日現在で、
二〇一〇年世界農林業センサス
が実施されます。

農林業センサスとは、全国の農家や林家をはじめ、すべての農林業関係者を対象として農林水産省が行う大規模な調査で、食糧の安定供給や環境の保全などの役割を担っている農林業の未来を築いていくための大変重要な調査です。

調査対象となった世帯には一月下旬から調査員がお伺いしますので、調査票に農林業の経営状況などの記入をお願いします。

調査票に記入された事項は、統計以外の目的には使用されませんので、ぜひご協力をお願いします。
▽問合せ先 県県民生活部統計課
〒四六〇―八五〇― 住所記載不要
電話（〇五二）九五四―六一〇二
FAX（〇五二）九六一―二一九四
または、各市町村農林業センサス
担当課へ

農地・水・環境のつどい 開催



稲垣副知事主催者挨拶

10月17日、愛・地球博記念公園モリコロパーク内「愛知国際児童記念館こどもホール」において、「農地・水・環境のつどい」を主催愛知県、共催水土里ネット愛知・愛知県農業協同組合中央会、協賛県内9地域協議会で開催した。

主催者挨拶として稲垣隆司副知事が、「農地・水・環境保全向上活動は、地域の環境保全という意識の高まりの中、地域の絆を深めるきっかけとなる取組みである。活動を維持するにはキーパーソンである子供たちが地域の中で体験を積み重ねていき、次世代に受け継がれることが大切である。また、来年愛知県で開催される生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）に向け、農業と生物の多様性の関わりが重要である。」と述べられた。

一部では、活動の一層の普及を図るとともに、県民の理解の促進と他の模範となる優れた活動を実践する活動組織に、愛知県知事賞、愛知県土地改良事業団体連合会長賞、愛知県農業協同組合中央会長会賞の表彰が行われた。引き続き、二部の講演会では、青森大学教授見城美枝子氏が「21世紀は水と土の時代」というテーマで講演され、ご自身の経験、活動をとおり「食の自給なくして国の自立なし」と農業の大切さについて講演をいただいた。



見城氏による講演



会長賞表彰の様子

最後に、閉会の挨拶で神谷金衛水土里ネット愛知会長が出席していただいた活動組織の皆さんの日頃の活動に対してのお礼と、「表彰された活動組織の皆さんには、地域のリーダーとして農地・水・環境保全向上活動を広くPRしていただきたい。」とお願いし、農地・水・環境のつどいを終えた。

各表彰活動組織は、次のとおりです。

愛知県知事賞

基礎的活動の部
へいわ環境保全会(稲沢市)
農地・水向上活動の部
菅沼を良くしまい会(新城市)
農村環境向上活動の部
猿投北部環境保全会(豊田市)
営農活動の部
草木みどりサミット(知多郡阿久比町)

愛知県土地改良事業団体連合会長賞

基礎的活動の部
富久綱地域保全隊(豊橋市)
自然豊かな新田を育てる会(西尾市)
農地・水向上活動の部
中之郷町資源保全組合(岡崎市)
グリントウン河和(知多郡美浜町)
農村環境向上活動の部
折戸西側地区環境保全協議会(日進市)
沖之島環境保全会(海部郡七宝町)

愛知県農業協同組合中央会長賞

営農活動の部
中部環境保全体(弥富市)
吉良の美しいみどりの会(幡豆郡吉良町)

緊急雇用創出事業基金事業に取り組んでいます!

水土里ネット愛知は、9月に愛知県農林水産部農林基盤担当局農地計画課から、10月に同農地整備課から、緊急雇用創出事業基金事業 農業農村整備事業関連資料等の電子化（その1、その2）業務を受託しています。

この「緊急雇用創出事業基金事業」は、現下の雇用失業情勢を踏まえ、国の緊急雇用対策の一つとして、離職を余儀なくされた非正規労働者、中高年齢者等の失業者に対して、次の雇用までの短期の雇用・就業機会を創出することを目的として実施されているものです。

事業の実施に際しては、ハローワーク（公共職業安定所）を通じて新規労働者を募集し、現在この2業務で14名の方の雇用創出を図っています。

業務内容は、効率的な業務・事務作業環境の向上を図るために、過去に実施した農業農村整備事業関連の膨大な量の資料等を電子化し、整理するものです。

業務を進める上で多くの人と機材が必要となるため、現在、愛知県土地改良会館4階の農業農村問題研究室と、同5階の土地改良相談室を利用して作業を進めています。年度内、会員の皆様には何かと不自由をおかけすることがあるかと思いますが、社会貢献活動の一環としてご理解ご協力をお願いいたします。



農地計画課業務・作業の様子



農地整備課業務・作業の様子

水土保持強化対策事業 情報

◆換地事務「新規担当者並びに換地計画作成」研修会

平成21年度の研修会を次の日程表により、愛知県土地改良会館7階大会議室で県・市町村・水土里ネット及び水土里ネット愛知の職員を対象に実施した。

□換地事務「新規担当者並びに換地計画作成」研修会日程表

月日	時間	課目	講師(敬称略)	備考
10月6日	10:00~11:00	土地改良法	愛知県農地計画課 主任 生倉 愛	51名 7F 大会議室
	11:00~12:00	民法(相続)	愛知県農地計画課 主任 尾河 巖仲	
	13:00~16:00	不動産登記法(表示)	名古屋法務局 不動産登記部門 納括登記官 中沢 元	
" (権利)		名古屋法務局 不動産登記部門 登記官 山本 雅詳		
10月7日	10:00~12:00	換地理論	東海農政局土地改良管理課 農地集団化係長 米倉 幸宏	30名 6F 第一研修室
		交換分合	東海農政局土地改良管理課 農地集団化指導官 加藤 晃司	
	13:00~15:00	農業振興地域の整備に関する法律(農振法)、農地法	愛知県農業振興課 主任主査 小林 利行 主任主査 早川 倫夫	
	15:00~16:00	換地計画の誤謬	水土里ネット愛知 計画部 指導監 本多 誠	
10月9日	10:00~11:00	測量(GPS実習等)	水土里ネット愛知 測量課 課長 平野 和美	30名 6F 第一研修室
	11:00~12:00	異議処理	愛知県農地計画課 主任主査 長坂 啓子	
	13:00~16:00	換地計画書作成及びその留意事項	愛知県農地計画課 主査 鈴木 智久	

◆北陸・東海・近畿ブロック換地事務指導研究会及び異議紛争処理対策検討会

全国水土里ネット主催による同検討会が9月17日と18日の2日間にわたり福井県で開催され、農林水産省、3農政局、1府5県と1府5県水土里ネットから85名が出席した。

- (協議事項)・中央換地センターの業務計画等
- ・換地をめぐる情勢
 - ・換地業務に係る実務処理事例(水土里ネット岐阜、水土里ネット和歌山)
 - ・異議紛争処理対策地区事例(水土里ネット愛知、水土里ネット兵庫)
 - ・農用地利用集積指導事例(水土里ネット石川、水土里ネット愛知)

◆農用地等集団化検討会

平成21年度の同検討会を10月30日、愛知県土地改良会館6階第1研修室で開催し、東海農政局、東海3県、東海3県水土里ネットから16名が出席した。

- (協議事項)・換地処分による建物登記申請
- ・農地利利用集積推進指導
 - ・納税猶予付き抵当権の処理
 - ・個人名義の公衆道路用地の取り扱い
 - ・水路またぎの換地の取り扱い
 - ・農地利利用集積強化対策(拡充)に向けた課題など

◆愛知県融資拡大連絡会議

平成21年度の同連絡会議を12月18日、東海農政局、愛知県、日本政策金融公庫名古屋支店、水土里ネット愛知の職員の出席のもと、愛知県土地改良会館6階第1研修室で開催した。

◆日本政策金融公庫農業基盤整備資金の金利改定

日本政策金融公庫の農業基盤整備資金の貸付金利が9月18日以降下記のとおり改定された。

	9月18日		11月20日		12月18日
県営補助残	1.75%	→	1.85%	→	1.75%
団体営補助残	1.60%	→	1.70%	→	1.60%
団体営非補助	1.60%	→	1.70%	→	1.60%
災害復旧 5年以内	0.90%	→	0.95%	→	0.75%
10年	1.05%	→	1.15%	→	0.95%
15年	1.45%	→	1.55%	→	1.35%
20年	1.60%	→	1.70%	→	1.60%

 詳細については、名古屋支店農林水産業 農業食品課 (TEL 052-582-0747) に問い合わせください。

平成21年度水土里ネット役職員研修会開催のお知らせ

日時 平成22年1月14日(木) 10時30分～

場所 愛知県土地改良会館 7階大会議室

研修内容

- 1 地域交流マイスター (平成21年度21創造運動大賞受賞)
講師: 水土里ネット愛知用水
- 2 土地改良事業における日本政策金融公庫非補助融資
講師: 日本政策金融公庫名古屋支店
- 3 今年度の土地改良区検査を振り返って
講師: 東海農政局土地改良管理課

※参加申込等の詳細については、12月10日付で通知しました内容をご確認ください。

